

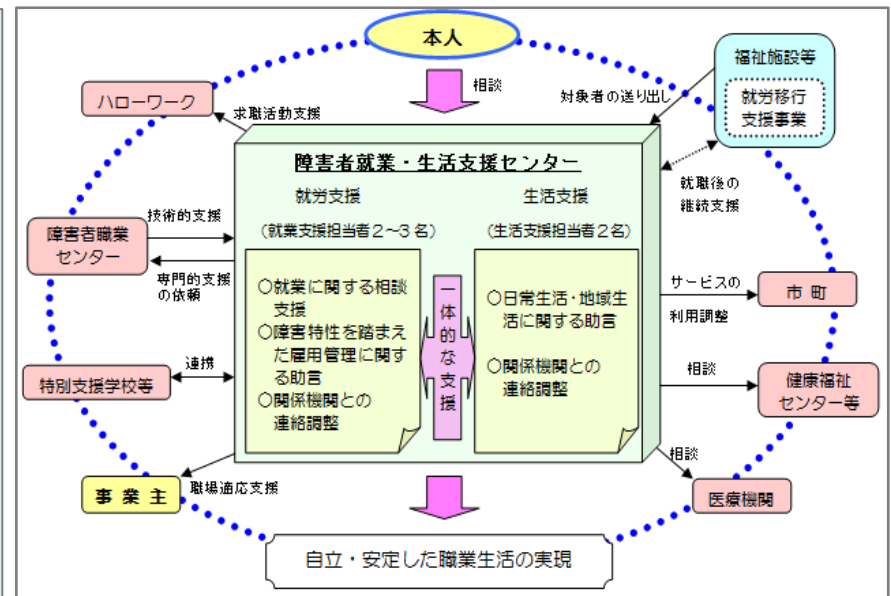
札幌障がい者就業・生活支援センター たすく

障害者就業・生活支援センター事業 雇用安定等事業（北海道労働局より委託）
生活支援等事業（北海道障がい者保健福祉課より委託）

2024（令和6）年度 活動報告書

報告内容

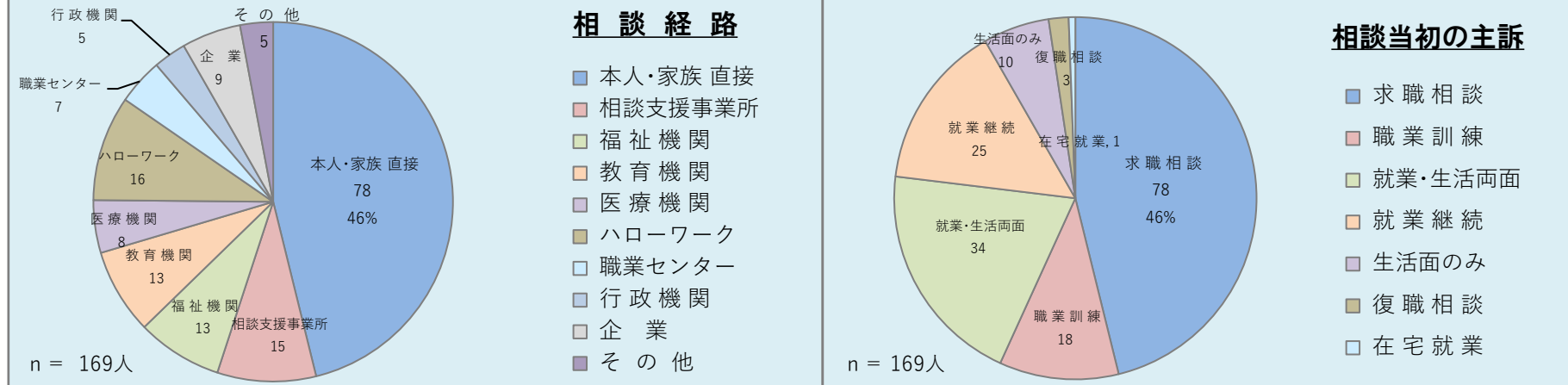
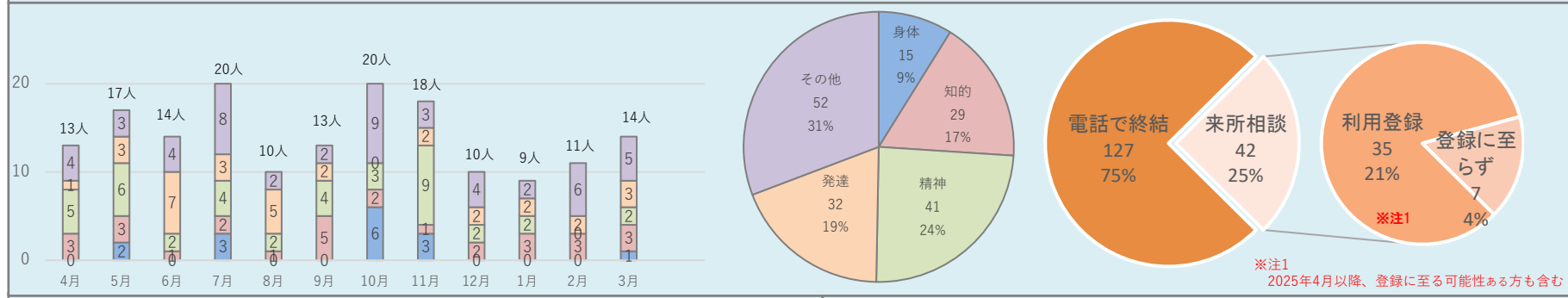
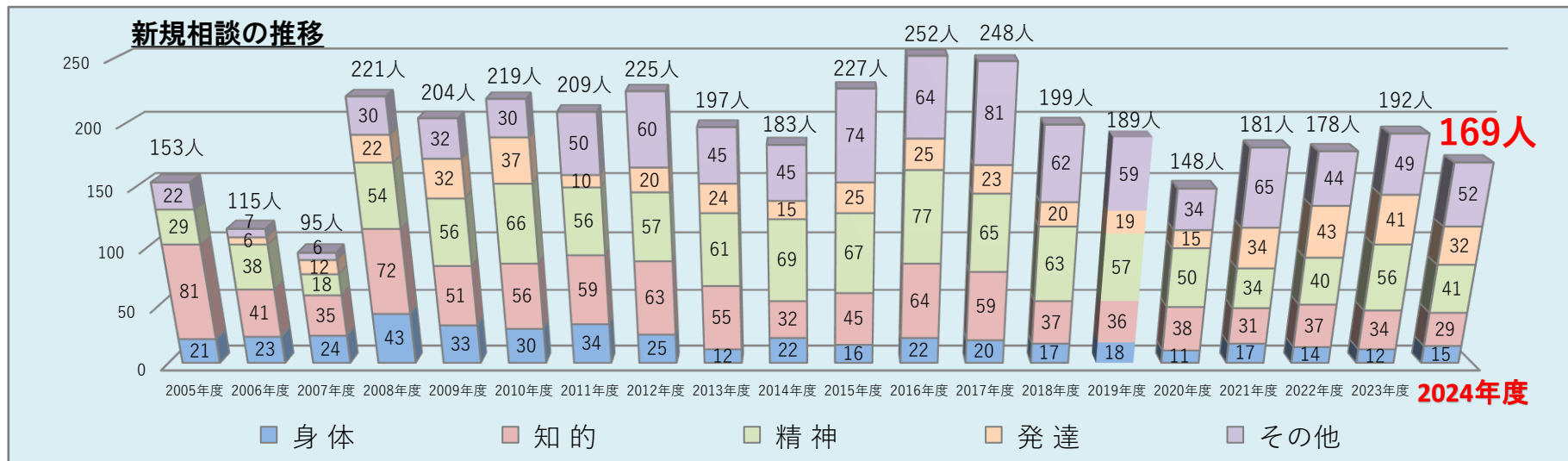
1. 新規相談の状況
2. 登録者の状況
3. 相談支援の状況
4. 就職者の状況
5. 職場実習等の状況
6. 就労系サービス利用開始の状況
7. 企業からの相談状況
8. まとめ



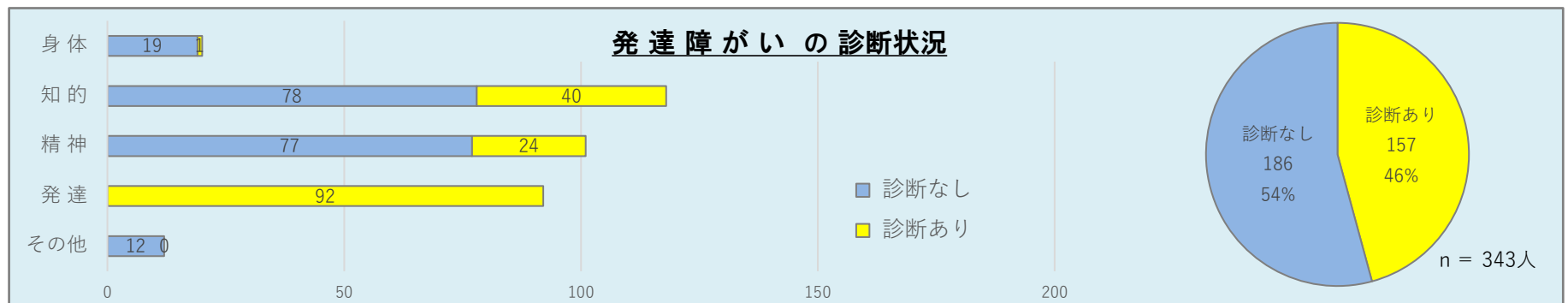
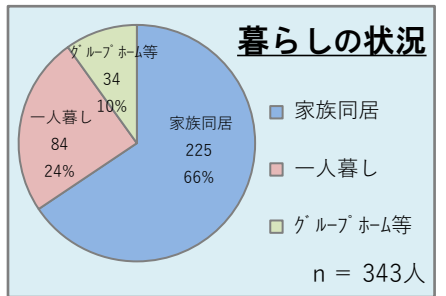
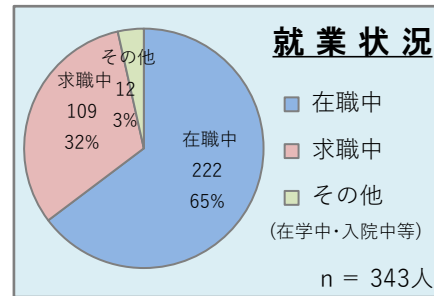
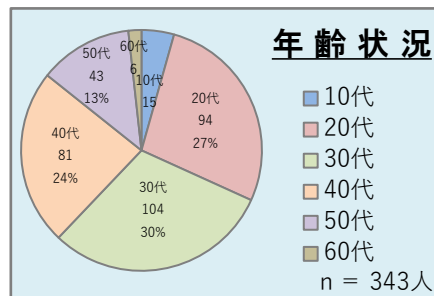
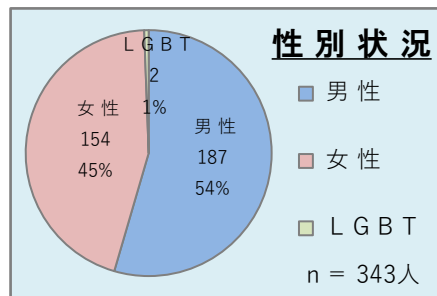
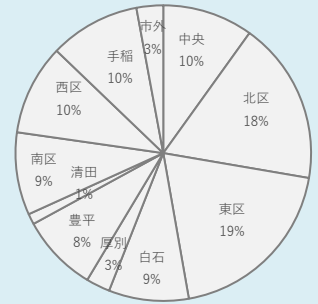
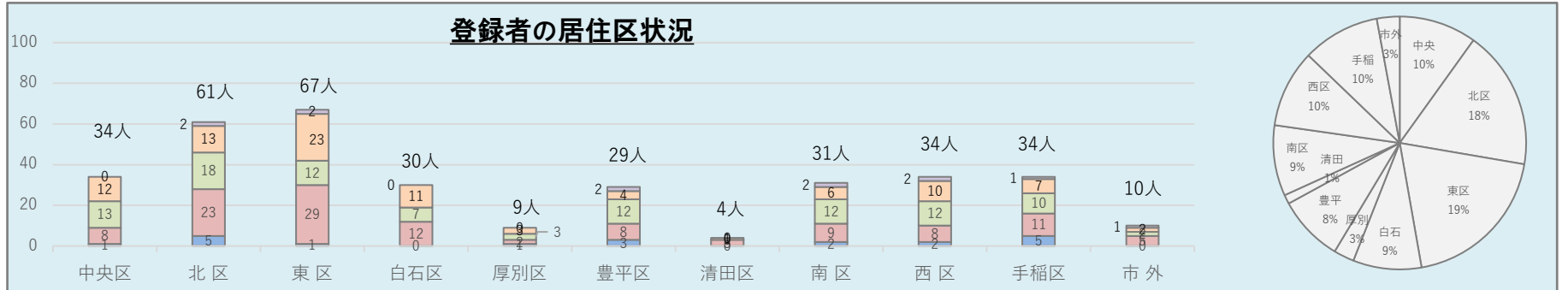
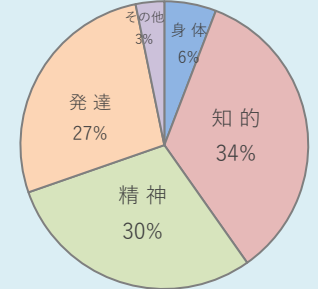
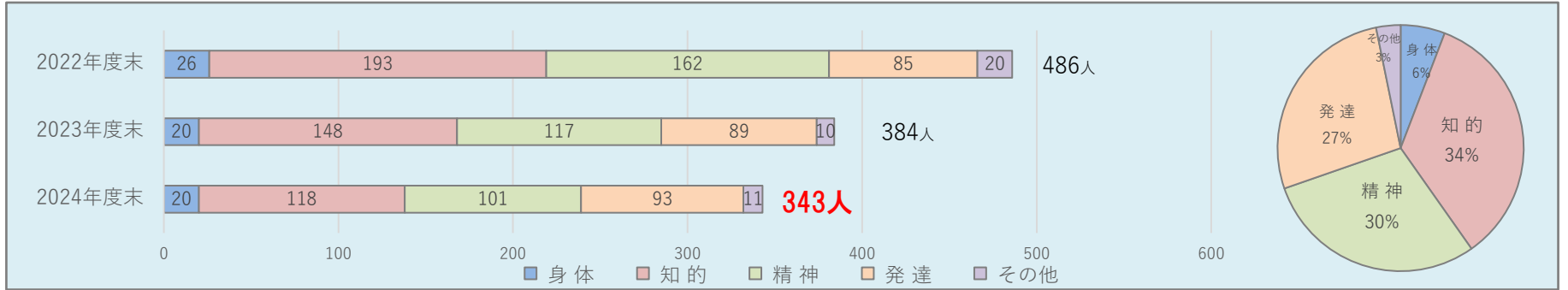
- ◆ 障がい種別、手帳の有無は問わず、一般企業就業にむけた求職相談支援や就職後の職場定着支援、就業に伴う生活面の相談支援を行っています。（診断は必要です。職業リハビリーションの対象者）
- ◆ 仕事の紹介やあっせんは行っていません。相談支援は無料です。
- ◆ 予約制で対応しています。（アポなし来所は対応しかねます）
まずは、お電話やメールでご連絡・ご相談ください。

2025年4月1日 作成

1. 新規相談の状況 新規相談 169人



2. 登録者の状況 登録者 343人



3. 相談支援の状況

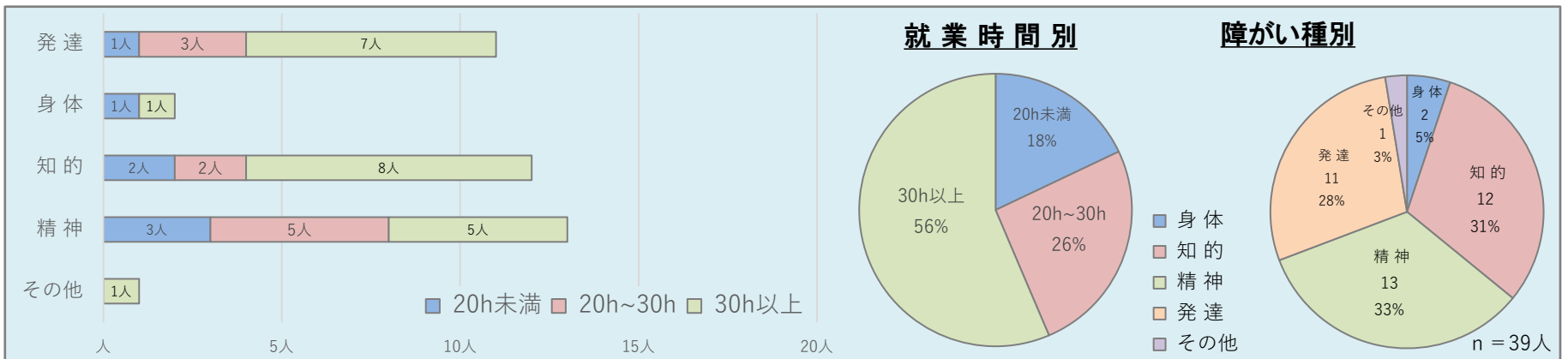
相談支援件数 5,695件



4. 就職者の状況

就職者

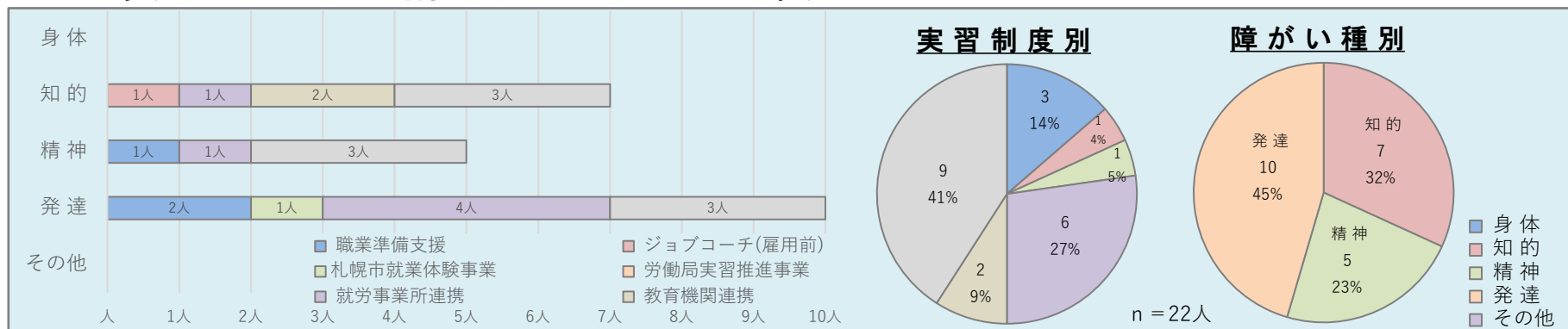
39人



5. 職場実習・職業準備支援の状況

職場実習等

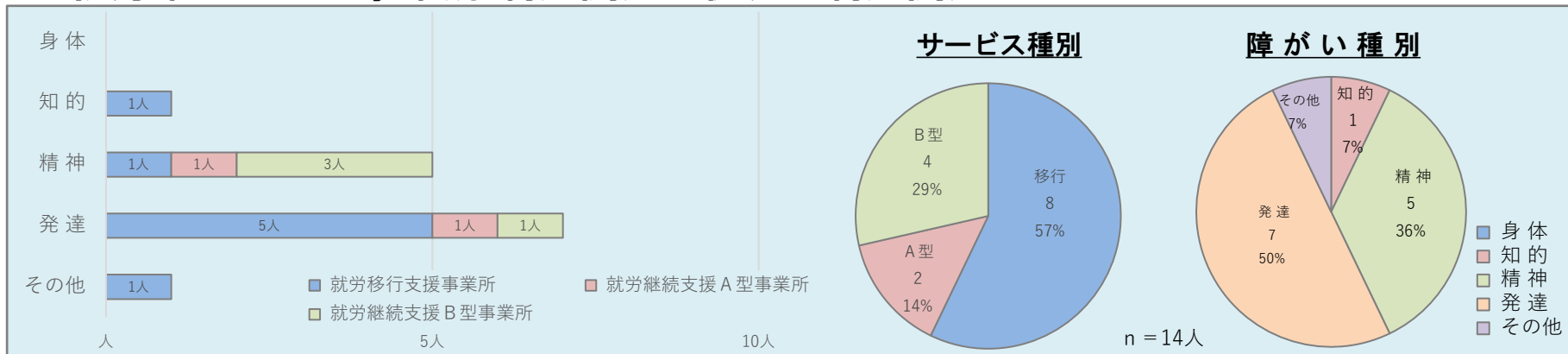
22人



6. 就労系サービス事業所 利用開始の状況

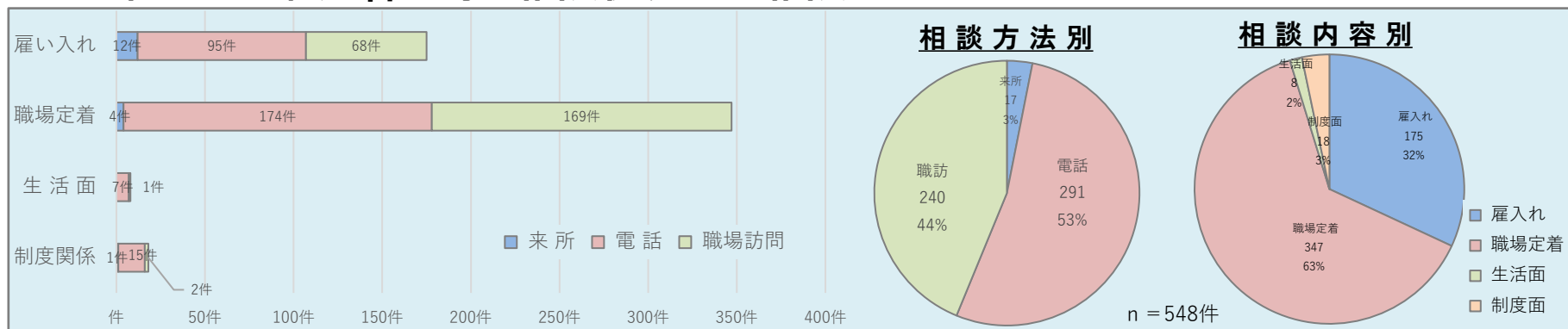
利用開始

14人



7. 企業からの雇用管理等の相談状況

相談 548件 (124社)



8. 2024年度のまとめ

- ◆ **職員体制**（配置基準 雇用安定等事業4名 + 生活支援等事業1.5名 = 5.5名）
 - ・職員6名体制（男性3名 + 女性3名、内1名が5月～産休・育休から復帰・育児短時間勤務、8月～職員1名を採用・充足）
- ◆ **新規相談の状況**
 - ・169人（前年度比23人減）。
内127人(75.1%)は、電話による相談(相談主訴の聴き取り、諸制度や他支援機関の情報提供や助言等)で終結。
内42人(24.9%)に来所相談等(家族のみの対応、関係機関との打合せのみ含む)を対応。（毎週1～2人対応。）
電話～初回面談のお待たせ平均期間は、16日間（昨年度平均20日間、4日間減少した。）
- ◆ **登録者の状況**
 - ・2023年度末の登録者384人 - 2年以上相談支援歴のなかった73人を登録抹消 = **2024年度当初登録者311人**。
今年度中の**新規登録者35人**・**2024年度末の登録者は343人**となった。（※本人希望・転居等により年度中登録抹消3人）
 - ・内、自法人サービス利用者は7人・2.0%(ワークス翔 移行；1人・定着・2人・B型；1人、サポートinサッポロ(共同生活援助)；3人)。
- ◆ **相談支援の状況**
 - ・登録者・新規相談者を含め**415人**の支援対象者に対し、**5,695件**の相談支援を実施。
職員の経験・知識・価値観など偏った相談支援とならないよう、2人ペア担当制を継続している。
- ◆ **就職、職場実習の状況**
 - ・職業準備支援及び職場実習 **22人**（目標値：23人）達成率 ≒ 95.7%
 - ・就職者 **39人**（目標値：28人）達成率 ≒ 139.3%
今年度就職者の内、年度末時点で勤続されている方が34人（定着率 87.2%）
- ◆ **就労系サービス利用開始の状況**
 - ・今年度も実施した「就労移行支援事業所 状況調査結果」を情報提供し、見学同行や比較検討の相談・支援を進め、**14人**が就労移行支援事業所を利用開始（内自法人ワークス翔利用開始者は0人）。
- ◆ **企業からの相談状況**
 - ・**124社**に対して**548件**の雇用管理等の相談・支援を対応。「職場定着」に関する相談が最も多く347件（63.3%）。
- ◆ **2024年度を振り返って**
 - ① 3Hw圏域毎にナカポツ連携強化会議を毎月定例共催。「求職者支援」・「事業主支援」双方での連携強化へ。
 - ・**Hw札幌北(からびな・石狩のいける)** ⇒ 金曜10:00～。6/1調査結果等を基に法定雇用率未達成企業に同行し、各種提案を行った。圏域内の就労系サービス事業所を対象とした意見交換会も実施。（2024.6/21、25機関・45名参加）
 - ・**Hw札幌東(テラス・しんさっぽろ・北広島めーでる・江別すてら)** ⇒ 水曜14:00～。専門援助窓口での求職者・就職者等の各種統計を共有、連携に資した。障がい者雇用スタートアップセミナー（2025.2/4、約30社参加）にも協力。
 - ・**Hw札幌(とねっと)** ⇒ 火曜10:30～。事業所第2部門担当者も出席、6/1調査結果を踏まえた事業主支援にも同行。
 - ② 就労継続支援A型事業所の閉鎖や事業種変更(B型へ)による解雇者増も多く、Hw3所の新規求職者・相談件数が激増する一方で、ナカポツへの新規求職相談は減少。就労継続支援B型での利用者抱え込みが進んでいると推察される。2025年10月に創設される「就労選択支援事業」を契機に、「企業で働きたい」をチームで支援していける地域づくりに積極的に参画していく必要性を感じている。

